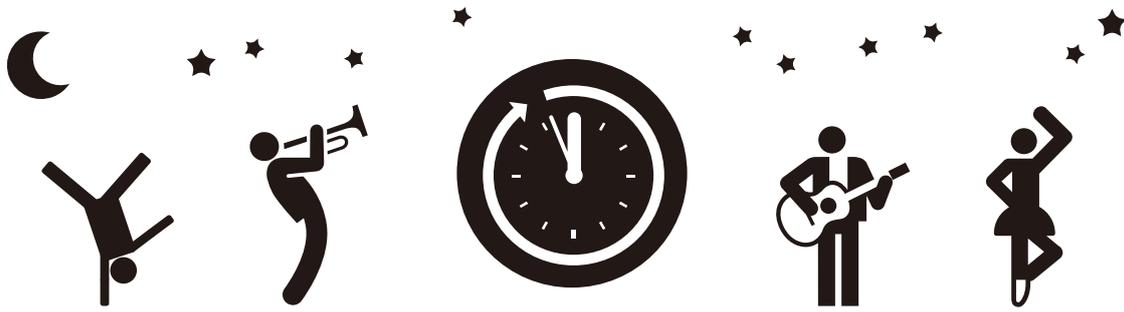


## 「ゴーゴーナイトキャンペーン」 夜間の時間帯を利用可能にする試み



### 事業内容

期間限定で施設を夜通し開放することで、お祭りや合宿のような非日常的体験のもとでの市民同士の新たな交流や文化芸術活動への参画を促していく企画です。新しい施設では、楽器の演奏や演劇の練習など、普段は夜間制限されている活動も許容し、夜間独自のイベントを企画することで、市民の魅力的な余暇環境の過ごし方を提供していきます。

また、仕事を終えた後や学校の放課後といった日常的な余暇活動のための環境整備も、市民の人生を豊かにする大変貴重なものです。そのため、新しい施設では仕事帰りに施設を使えたり、学生がお金をかけずとも立ち寄れたりといった市民のアフターファイブの過ごし方についてもあわせて考え、施設の開館時間を市民のニーズに合わせたかたちにすることを目指します。

### 実施することで得られる効果・可能性

市民同士の新たな交流や新しい文化芸術活動への参画  
 日中施設を利用することができない市民に対して利用機会の提供

### 実現する上での課題

周辺住民の理解と協力  
 夜間営業スタッフの存在  
 夜間利用をすることによる費用対効果

## 「芝生ファンクラブ」 屋外のオープンスペースづくりやイベントを企画する組織



### 事業内容

芝生の広場のようなオープンスペースは、文化芸術活動に関心の薄い市民にとっても気軽に訪れることのできる場所です。「芝生ファンクラブ」は、屋外スペースを自主的に管理し、そこでのイベントを企画する市民団体です。施設の内部空間ではなく外部空間の管理や運営を市民が担うことで、文化芸術活動に限らない自由な発想をすることが可能となり、市民にとって親しみやすい憩いの場づくりを実践することができます。

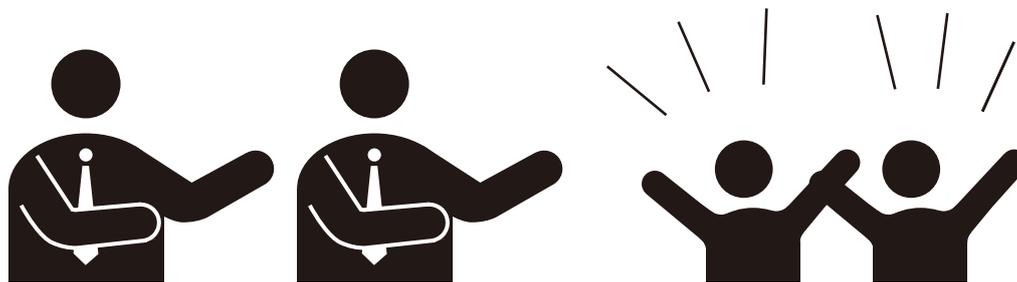
### 実施することで得られる効果・可能性

文化芸術活動に関心の薄い市民の気軽な施設への来訪  
文化芸術に限らない活動の展開

### 実現する上での課題

管理・運営を担う市民組織とそれをサポートする体制づくり

## 「子どものわくわく社会見学」 子どもの関心を育み施設のにぎわいを生むイベント



### 事業内容

多種多様な活動をしたり、利用者が気軽に利用できる施設にするためには、具体的な利用者像を想定することが必要です。例えば、子どもを対象としたスペースは、施設のにぎわいや活気を創出することができる重要な空間です。現在、市内には子どもを連れて自由に遊べる屋内スペースは少なく、その一方で、市内で開催されている子どもを対象とした職業体験イベントは、毎回抽選になるほどの人気企画となっています。そこで、新しい施設では子どもを対象とした職業体験イベントなどを実施することで、子どもの施設への関心を高め、子どもや子連れの家族が気軽に訪れることのできる施設を目指します。

### 実施することで得られる効果・可能性

利用者層の多様化

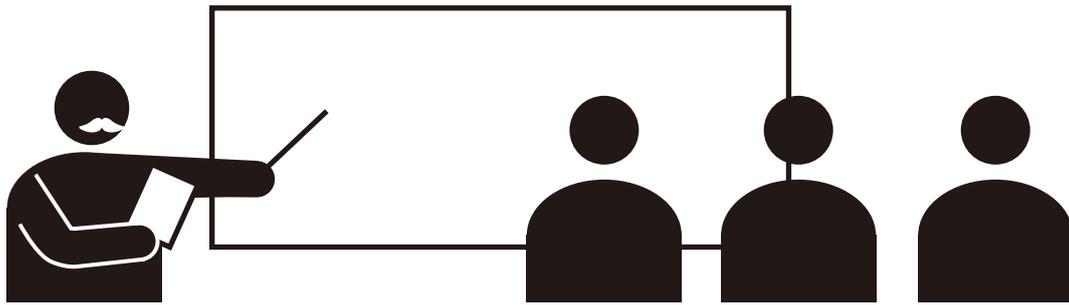
子どもが施設を利用することによるにぎわいや活気の創出

### 実現する上での課題

子どもを対象としたスペースのルールづくり

怪我や事故に対応できる管理の仕組みづくり

## 「大人のいきいきカレッジ」 社会や生活の知恵を受け継ぐ生涯学習機会の提供



### 事業内容

社会人のスキルアップセミナーや民生委員の勉強会など、大人にも学びの環境が必要です。「大人のいきいきカレッジ」は、職場や地域での活動を担う市民と人生の大先輩であるお年寄りの世代間交流を目的とした生涯学習を楽しむためのイベントです。現在、市内のコミュニティセンターでは長生大学として、高齢者を対象に各種サークル活動や発表の場が設けられています。長生大学で活躍するお年寄りを講師に招き、各種スキルアップセミナーや勉強会を開くことで、日常的には接点の少ない世代間でのコミュニケーションを促すことで、新たな企画や多様性に富んだ活動を展開していきます。

### 実施することで得られる効果・可能性

生涯学習機会の提供

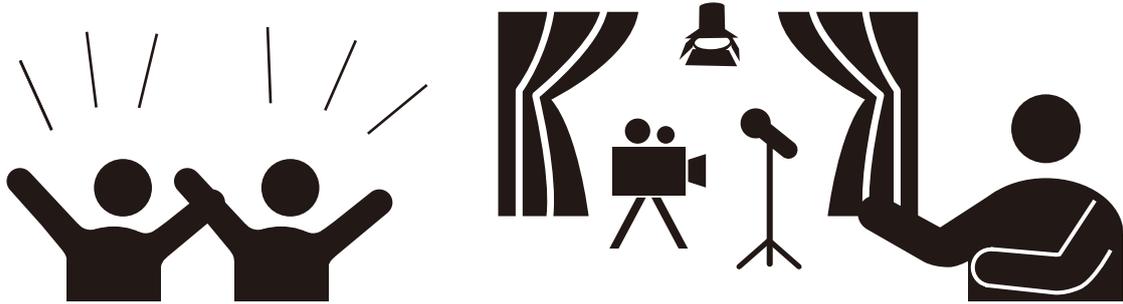
お年寄りから若者への知識や技術などの伝達

### 実現する上での課題

お年寄りから学びたい若者の存在

両者を結びつける運営者のノウハウ

## 「レベルアップ！みんなの部室」 既存活動の連携と発展を促す施設・設備の開放



### 事業内容

「レベルアップ！みんなの部室」は、市民が既存の活動を新しい施設に持ち寄ることで、より充実した活動へと発展させることを目指す企画です。例えば、小学校のお楽しみ会で施設のホールを使った楽器の演奏会を行ったり、部活動で中学・高等学校合同の練習会を開催したりと、既存の活動も専門諸室と施設スタッフの助言のもとでより発展的な展開が見込めるものとなります。新しい施設は、市内の教育活動や市民活動が内部で完結することなく、積極的に外部施設と連携することでより充実した活動へ高める拠点とします。

### 実施することで得られる効果・可能性

既存活動の充実・発展  
施設利用機会の増加

### 実現する上での課題

専門諸室の内容とスペックの検討  
専門スタッフの雇用